



2023 年度 授業の試行的実践

既存科目「教育制度論」を用いた 「子どもの安全と学校組織」の試行的実践

開催日時：2023年7月11日(火) 14時50分～16時20分

場 所：共通講義棟 108 教室

実施方法：対面による実施

講 師：神内聡・三浦智子・川上泰彦

主 催：連携協働科目開発チーム

学部3年生科目「教育制度論」の第14回を、フラッグシップ科目「子どもの安全と学校組織」の試行として実施しました。現行の「教育制度論」の内容として、学校内での安全確保と危機管理を取り扱っているため、この内容を「子どもの安全と学校組織」で想定するような方法（事例検討・演習）にて実施しました。

該当授業は7月11日に対面授業として実施し、前半は「演習編」として、学校での授業時における児童の転倒とその後の対処に関するトラブル事例（授業時の対応は行ったものの、帰宅後に大怪我であったことが判明）を題材に「児童転倒時の適切な対応はどのようなものか（何を確認し、誰にどう連絡するか）」というテーマでグループワークを行いました。グループワークの結果は各自 Microsoft Forms に記入し、いくつかのグループの回答については全体で共有を行いました。

教科の担当者として、また学級担任として児童・生徒の指導にあたる中では、事例として扱ったような案件は常に「起こりうるもの」とも言えるほか、ボランティア等で学校現場に関わる中では、学生の立場であっても学校事故に接する可能性があります。「わがこと」として事故の未然防止と事故後の対応を考えるきっかけになるよう、本格実施に向けた十分な準備を進めます。